

# はーと・シップ

「はーと・シップ」はハートフルシティとパートナー・シップを合わせて小野市の男女共同参画を表す愛称としています。



# 働いてほしい?! ほしくない?!

## あなたはどっち?!

男性に聞きました!

今年度の男女共同参画センターのテーマ『男女共同参画の視点から働き方について考える』のもと、前号では、子育て中の女性が働くことについてどのような意識を持っているのかアンケートを行いました。

結果として、働き続けたい・今後働きたいと思っている女性が多数を占めていたのですが、それに対し男性はどのような考えを持っているのか、パートナーの有無にかかわらず、同様にシールアンケートを行ってみました。

### 働いて(働き続けて)ほしい

- ・結婚を理由に仕事をやめてほしくはない。(20代 独身)
- ・将来自分の店を持ちたいので、結婚したら妻とは一緒に仕事をしたいです。(20代 独身)
- ・社会とのつながり。育児だけで狭い世界より、色んな人とつながったりして欲しい。(20代 既婚)
- ・家にいて子育てしていた時は暗かった。仕事に出て、人と話をしたりしていきいきしているから。(30代 既婚)
- ・経済的な理由。子どもは保育園に預ける。育休はとれない。(30代 既婚)
- ・働いていると機嫌がよく、家庭円満にもつながっている。(30代 既婚)
- ・収入がある方がいいから。妻が持っている資格があるので活かしてほしいから。どちらかという、自分が仕事を辞めてもいいかなと思うこともある。(30代 既婚)
- ・必要とされているという事を感じてほしいから。(30代 既婚)
- ・先行き不透明なので2人で働いた方が経済面が安定するから。女性の活躍が期待されているから。妻の会社はしっかりした育休制度があるし、必要とされていて役職があるから上を目指してほしい。自分も家事をする。(30代 既婚)
- ・パートナーにもガス抜きが必要なので、全面的にバックアップしてやりたいと思っている。(40代 既婚)
- ・働くことは地域や社会に貢献できるし、男女という性別には関係ないと思う。(40代 既婚)
- ・働く意欲があって、環境が整っているなら、働いたらいいと思う。ただ、働くことによって、誰か(家族や自身)がとても我慢しているようなら働かない方がいいと思う。(40代 既婚)
- ・家で家事と子育てだけだと人との付き合いが狭くなるから、外に出て、色んな知り合いを増やして、気分転換した方がいいと思う。(40代 既婚)
- ・働いてほしい、というか自身の意思に任せる。現在働いている妻に対して、「頑張ってるなー」と思っている。(40代 既婚)
- ・妻は楽しく働きに出ているので。本人が働きたいんやから、それでええやん。(40代 既婚)
- ・急速に進む高齢化から働き手の不足を耳にするから。しかし、女性には出産・育児というハードルが必然的についてきて、働きたくても働けない女性がいるのも実状だと思う。(40代 既婚)



「女性が働くことについてどう思いますか?」

		働いて(働き続けて)ほしい	働いて(働き続けて)ほしいとは思わない	どちらでもない
20代	独身	●●●●●●●●●●	●●	●●●●
	既婚	●●●●●●●●		●●●●
30代	独身	●●●●●●●●●●		●●●●
	既婚	●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●●●
40代	独身			●●●●
	既婚	●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●●●

対象者：20代～40代までの独身・既婚男性102名  
 実施場所：小野市うるおい交流館エクラほか  
 方法：該当する所にシールを貼付、および聞き取り



### 働いて(働き続けて)ほしくない

- ・家事や育児をしてほしい。(20代 独身)
- ・経済的なことを考えると働いてほしいけど、できれば家にいてほしい。子どものためには家に帰るとお母さんがいる方がいい。(20代 独身)
- ・自分が疲れて帰ってきた時に、家事をするのが嫌だから。今、妻は働いていないが、働きたいと言っている。それは構わないが、フルタイムでは働いてほしくない。パートか何かで働いてほしい。(30代 既婚)
- ・家事と仕事だとしんどそうだから。妻は家にいるものと思っているから。自分がしんどい仕事をしているから、ともにしんどくなって倒れたらいけないので。(30代 既婚)
- ・子どもが生まれただけで子育て中。自分がとてもやきもち焼きなので、妻には家にいてほしい。(30代 既婚)
- ・家事を手伝うのが面倒くさい。出来るなら専業主婦で全てやってもらって、気が向いた時に手伝うのがいい。そのためにはもっと稼がないといけないんやけど、なかなか…。(30代 既婚)

### どちらでもない

- ・妻は辞めたいと思っているので、その気持ちは尊重したい。(20代 既婚)
- ・妻が働きたい人だから働いていていいと思う。自分が少しだけ家のことを手伝う。(30代 既婚)
- ・共働きだと収入面では助かるが、家のことや子どもと過ごす時間が少なくなるので、自分の気分転換くらの時間や日数で働いてほしいと思う。(30代 既婚)
- ・笑顔が見たい!から。働いていた方がいいけど、家にいてほしい。(40代 既婚)
- ・本人の意思に任せているので、どちらでもいい。嫌なら働かなくても。(40代 既婚)
- ・今パートナーは働いていない。まだ子どもが小さいから、このままでいいと思っている。子どもが独立したら、働きたいなら働いてほしい。(40代 既婚)
- ・本人の意思。妻は内職をしている。誰にでもできない特殊な作業なので、世の中の役に立っていると思う。自分とのよい距離感が保てるし、スケジュールも自由に立てられる。自分で孫への買い物などを楽しんでいる。(40代 既婚)

アンケートの結果、女性に働いてほしいと思っている男性がとて多いことが分かりました。

自分のパートナーに働いてほしいと思っている男性は、自分も家事や育児に携わるべきだと考えている方が多いことが印象的でした。反対に家事や育児に消極的な男性は、女性が働くことを望まない傾向にあると感じました。

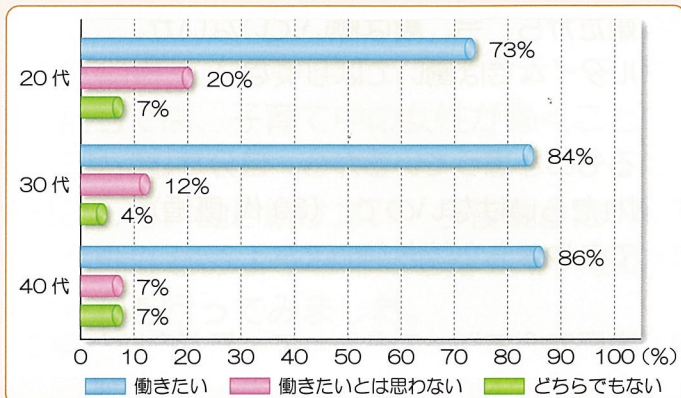


# 「女性が働くことについてどう思いますか？」 女性と男性に対して行ったアンケート結果をグラフにしてみました！

## 女性



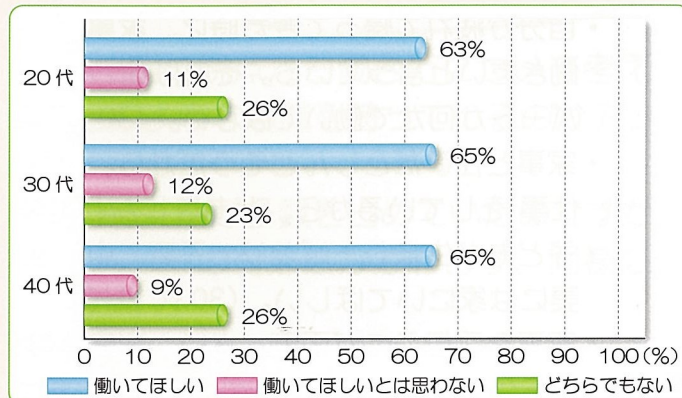
前号(31号)で行ったアンケート結果です。



## 男性



今号のアンケート結果です。



内閣府が実施した平成28年の「男女共同参画社会に関する世論調査結果によると、「子どもができてもずっと職業を続ける方がよい」と答えた人が54.2%に上り、1992年の調査以来、初めて5割を超えました。

このような意識の変化があり、働く女性は近年大きく増加したものの、企業等において管理的立場に就く女性の割合は、低い状況にあります。

働きたい女性の能力が十分に活かされるために施行されたのが、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」です。

今回、アンケートをしてみて、私たちの身近な所でも過半数の男性が、女性に働いてほしいと願っていて、女性は年代を追うごとに働きたい人の割合が増えていることが分かりました。

女性が働き続けるためには、男性の理解とサポートが大切であるとともに、男性の働き方を見直すことも課題となってくるでしょう。

## 無料相談窓口案内

○市外の相談窓口もご利用いただけます。

実施機関	種類	電話番号	実施日時	所在地
小野市男女共同参画推進グループ	女性のための相談	電話相談 (随時) 0794-63-8250	木曜日 9:30~11:30	小野市中島町72 小野市うるおい交流館エクラ内
		面接相談 (予約制)	木曜日 13:00~16:00	
		※託児ご希望の方は、ご相談ください。		
小野市ヒューマンライフグループ	いじめ等相談 (ONODりまりほっとライン)	電話・面接相談 (随時) 0794-62-4110	月~金曜日 9:00~17:00	小野市役所内
小野市DV相談室	DV相談	電話・面接相談 (随時) 0794-63-1116	月~金曜日 9:00~17:00	—
北播磨総合医療センター	女性のための医療専門相談	面接相談 (予約制)	木曜日 13:30~16:00	小野市市場町926-250 北播磨総合医療センター内
		電話相談 078-360-8551	月~土曜日 9:30~12:00 13:00~16:30	
兵庫県立男女共同参画センター	女性のためのなやみ相談	面接相談 (予約制) 078-360-8554 (予約専用電話)	月~金曜日 11:00~18:40 土曜日 9:20~16:50	神戸市中央区 東川崎町1-1-3 (神戸クリスタルタワー7階)
		法律相談 (女性弁護士)	面接のみ なやみ相談 (面談) 後に予約	
	男性のための相談	電話相談 078-360-8553	原則第1・3火曜日 17:00~19:00	
		DV相談と女性の悩み相談	電話相談 (随時) 078-732-7700	
日本司法支援センター (法テラス)	法的トラブルに関する情報提供	電話番号 0570-078374	平日9:00~21:00 土曜日9:00~17:00	—

## 編集後記

今号の編集にあたり男性にアンケートを行ってみて、世の男性は女性に対してすごく気をつけているんだよ!! (笑)ということが伝わってきました。

収入面で、妻に働いてほしいと思う気持ちもあるが、それ以上にイキイキと輝き続けてほしいという夫の愛や、妻の気持ちを尊重するという優しさを感じました。

夫婦それぞれが働きに出る事により、お互いが尊重しあい、助け合う事によって、夫婦円満につながっていくのではないかと思います。

最近は、民間の子育てサークルなどもたくさんあり、女性自らが自分たちの輝ける場所を創りあげていこうと活躍されているのを身近で感じる機会があります。女性がイキイキされている活動は素晴らしいと思います。

女性が社会にもっと出やすい環境を整えていくことが大事ですね。

(by だけひさ)

本誌に対するみなさまの率直なご意見やご感想をお聞かせください。ハガキ、ファックス、Eメールで受付しています。

■事務局 小野市男女共同参画センター (特定非営利活動法人 北播磨市民活動支援センター)  
〒675-1366 兵庫県小野市中島町72番地 小野市うるおい交流館エクラ  
TEL: 0794-62-6765 FAX: 0794-62-2400  
URL <http://www.ksks-arche.jp/danjo/> E-mail [danjo@ksks-arche.jp](mailto:danjo@ksks-arche.jp)